

羣書備考

六

			一八六六	和書門
二二二	二二二	二二二	二二二	
冊	架	函	號	類

庫文閣內			
二二二	二二二	一八六六	和書
冊	架	函	號
冊	架	函	號

類抄

內閣文庫	
番號	和 18663
冊數	23 (9)
函號	218 76



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



屏書備考卷之六

野府記

小竹宮美賴撰

安南隨筆云野府江升卷

類聚國史後書

関白基房撰

日書云類聚云史後書二冊

詞苑集

日書云詞苑集云崇徳院仁平元年不撰云其時河元

の二字の切云云邪の字云云云云云云云云云云云云云云

屏氣記

淺草文庫



小竹宮美賴作未見也

関白基房云史後書二冊

一

魏中子

曰書曰象清久納言捲屏圖一隻清久納言清本元辨子永
延帝之丈人也帝因雪盛不顧形言香炸景景何如也
清介侍側新陳玉翅而捲屏則悅然矣一時作其敏捷
想原白象天羊老東庭題詩有遠愛寺鐘何危魏聰各
炸奉曾捲屏看之句也蓋初思研研於先國之賦方喻
本物琴蘇子之咏若夫 柳絮片言斃荒山之玉屑珠簾一換
訝天風良清吹不泐於言而妙於事形技儀而成其趣清
亦可謂臨三矣有魏中子若干老行于世

孫子兵法釋

新井居敷拙

白石手簡云孫子兵法扶石云云也 晚稿云云

如例又云... 羊江句法... 長
... 乃... 長
... 斯... 云

蕭蕭譜

曰上

曰書曰象清久納言捲屏圖一隻清久納言清本元辨子永
延帝之丈人也帝因雪盛不顧形言香炸景景何如也
清介侍側新陳玉翅而捲屏則悅然矣一時作其敏捷
想原白象天羊老東庭題詩有遠愛寺鐘何危魏聰各
炸奉曾捲屏看之句也蓋初思研研於先國之賦方喻
本物琴蘇子之咏若夫 柳絮片言斃荒山之玉屑珠簾一換
訝天風良清吹不泐於言而妙於事形技儀而成其趣清
亦可謂臨三矣有魏中子若干老行于世

曰書山國朝... 録十卷。此書均奇永以所輯録也。此目
多則云

外祖成續 三卷

曰書山列祖成續二十卷。此書水滸史臣等以庚命所扶也
此目多則云

國喪正議 二卷

曰書山國喪正議一卷。此書水滸史臣等以庚命所扶也

室町殿日記

雜說同合伊勢室町殿日記伊勢自註天文永祿の頃の
日記あり

田中良基

二条良基

鞠考伊勢不伊勢の日記の自註貞治二年二条良
基公記

難太平記

今川貞世

貞世の日記の自註貞治二年二条良
基公記

武家閑談

門 流篇

武徳編年集

四教記

木村高敷

曰書山武家閑談門流篇伊勢貞治二年木村高敷
の日記あり

七

辨行子續以不集之書二卷也

職源錄

執苑日決村瀨之職源錄各官下附唐名者所以為後世制
作之要同身

雜集錄

當四行抄

曰書自遠世集錄或以為後人偽撰也其出亦非近代矣

醫心方

萬年方

曰書自遠世醫心方三十卷丹波康賴撰一曰雅志萬年方
五十七卷七曰二十二卷旋原性金撰

樂曲方

物文何抄

曰書為者在六如師許見物但錄樂曲方就陰末茲清唐
社集子及獨教錄教坊記集府雜錄社通曲陳氏集
書邦想通志宋史樂志玉海等採摘教條上方未書此
方所傳樂曲同名者

音想卷

大坪道輝抄

執卷錄之註年云執卷製作以法記乃書子音想卷之
書也其集書不永享九年五月十日大坪入道道輝
直身刊

四事本紀

四事本紀訓傳

曰書云貞夫云折微云云と書く是れ事あるに非ざる
とて古文真室後集の進学解の註に引くは云
一々注の誤を云はれしと云ふ也
古文後集の註に引くは云ふに大不附合相違ありと盛長
註に文治四年と注なきは云ふに云ふに文治四年不
百七年九年の條に條なきは後集の條以て云ふ註を
引用なきは條作りの又條作りの事朝の文治四年
戊申の吳朝との宋朝の孝宗の代淳熙十一年戊申
の事あり是れ事ありと百七年九年の條に元朝の順
帝の代淳熙十一年戊申の事ありと注なきは條
以先主と看古文後集の注に改是れ新注と作
りたる事又引くは條の新注なきは盛長の如く明符

用事ありと云ふは云ふに云ふに新注を以て前注を
明と盛

曰書云貞夫云折微云云と書く是れ事あるに非ざる
とて古文真室後集の進学解の註に引くは云
一々注の誤を云はれしと云ふ也
古文後集の註に引くは云ふに大不附合相違ありと盛長
註に文治四年と注なきは云ふに云ふに文治四年不
百七年九年の條に條なきは後集の條以て云ふ註を
引用なきは條作りの又條作りの事朝の文治四年
戊申の吳朝との宋朝の孝宗の代淳熙十一年戊申
の事あり是れ事ありと百七年九年の條に元朝の順
帝の代淳熙十一年戊申の事ありと注なきは條
以先主と看古文後集の注に改是れ新注と作
りたる事又引くは條の新注なきは盛長の如く明符

兼好傳序

七 南願子評 貞夫云貞夫云兼好傳序 貞夫云貞夫云兼好傳序 貞夫云貞夫云兼好傳序

好集寺由拾遺蹟碑身其外諸書之身其... 集好寺

武門故美百...

往秋有拙

武門故美百...

伊勢貞丈拙

同書之貞丈持秋有... 曾... 白... 隱... 笑... 誇人...

有... 之... 大...

和熟一...

和熟一...

秋有... 書... 位...

同書... 新... 筆...

思ふて事

往秋角拙

日書に被成りて... 昔年... 日... 進... 交...

前大年記

平山素因拙

日書自注前大年記... 取用...

藤九郎盛長社記

扶桑見聞社記... 昔... 不音...

名代筆本元

日本書元

古事元

名代筆本大成

日書... 道... 道...

曰書云淳亨其行の辨百才也卷中流也三軒一深藤
 岸とあり編し書あり
 送靴らん書籍とあり集り一句一言とあり
 物と周法とあり
 時江入は是時とあり
 羊福とあり
 監錫無肩抄とあり
 詩とあり
 通陽仲とあり

塾括とあり十九年とあり再徴とあり時天合齋製
 の詩とあり通陽仲とあり和とあり
 詩とあり

物考辨

曰書とあり
 書の假字の外類とあり
 又育とあり
 又奈流とあり
 辺とあり

行人本

日書之契奉為の書十州人あゝ之月〜〜〜奉の事

詠草

和尔雅

和漢事始

日本身時記

目原好古撰

日書之詠草の目原久之進好古の序あり好古は目原業新
の子あり為信と云ふ其子あり業新と為信の兄
あり和尔雅和漢事始日本身時記等ハ皆好古ハ編
〜〜〜好古書ハ細の才あり〜〜業新文集ハ今
たも惜哉為信ハ先〜〜身あり〜〜

吉抄拾遺 尾

櫻聖記 三巻

日書之吉抄拾遺四巻は編者の名ハ逸々南朝の主人
の事ハ出〜〜人ハ為孝天徳天皇の事あり坊間板行
の書〜〜あり〜〜櫻聖記三巻是亦南朝の事あり
傳澤三才図会

日書之傳澤三才図会の傳の字ハ西オキナの思ハ〜〜月

和の事あり書ハ〜〜あり

大明律詠解

御草備忘

神本立辨法

南詠草書神本立辨法神本ヤ行ハ神本立辨字希翻神本

大學啓蒙

于江年撰

陳樹先生年譜世著三寬永五年戊辰先生二十一歲是年
幼學同高師大先生大學啓蒙之著其書大旨
曰書大全不為少後少也人之不精
及之

段高卷

同上

曰書三寬永十有五年戊寅先生三十一歲今大我子依
之者其後復先生親友乃其子作編子
之書實極之需尊純味也士業徒不足
以之及又書之職業也

予依之也其書之先生也曰我醫之也
欲之新之醫書之句讀之教下先生之也
懶之後大成也先生之句之教
二百通之也其書之漸之也今之速
余也其書之江陽之也以後早也
予之子先生之江陽之也今之也醫之也
先生之醫所也之曉得也先生之醫之也
予之子也其書之也又其書之也其書之也
其書之也其書之也其書之也其書之也

同上

翁同龢

の八人下流方奇術と稱す

鑑年

同上

曰書云正任四年下流先王四年秋鑑年刊行先王書
新國各西都と著す如しと學早進不
可國今愈其心不可し故可高也
く門人下流方奇術と稱す
人の事なりしと流不稱ふと
あり知しと流不稱ふと
難しと流不稱ふと
の事なりしと流不稱ふと

軍書問書

八木忠勝撰

四季草 貞治云小軍書問書と稱す自注云永正八年小余

美候方忠勝と稱す

小三系大双紙

曰書云小三系大双紙と稱す自注云室町殿の時々の

書にあり

騎射秘抄

小三系持清撰

曰書云騎射秘抄と稱す自注云小三系持清の記

大進初園書

小三系元長撰

日書に大注あり書に引く自注に多系之外大補之長
の記あり

英皇解科記

日書に英皇御拜記に引く自注に英皇不承正二年二月
昔より引く所為不知

法量物

小室朝長撰

日書に法量物に引く自注に多系備前守朝長正永
年中記に引く書に

流騎馬次方

小室朝長撰

日書に流騎馬に引く自注に多系備前守朝長

永享八年八月記之

扶桑見聞記

大進物抄記

安達薩九郎盛長記

日書に扶桑見聞記に引く自注に天進物抄

正永承和二年頼朝の時大進物の式に記載あり

人々正和四年武承子豊源卿王子打之津津

薩摩守重久友合あり天進物抄に記あり

物の式に扶桑見聞記に引く自注に天進物抄に記あり

者より引く所為不知頼朝の時大進物の式に記載あり

たしむる所為不知頼朝の時大進物の式に記載あり

尚

二四

馬場日記其終まに記述は終るべし新編の事
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
後御所の事記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
流しに記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は

法要録抄

法要録抄の事記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は

流の事記述

射手方面書

射手方面書の事記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は

的出張記

伊治貞久撰

的出張記の事記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は

弓箭条

多賀高忠撰

弓箭条の事記述するに大出ぬ鎌倉の御所の大道は
圓的圖書

同書不圖の同書... 清政層元清元長の... 書

難く拾遺

海東行定撰

同書不難く拾遺... 海東行定撰

三議一統

三議一統并

同書... 三議一統... 義兩... 因... 義... 今... 同... 書... 海東行定撰

同書... 三議一統... 義兩... 因... 義... 今... 同... 書... 海東行定撰

海東行定撰

日書不内國令と引書自注大内義弘向伊路信
守貞隆及合・此の二身の記

貞親教訓書

伊路貞親抄

日書不貞親教訓書と引書貞親子息貞定
教訓書長祿元年

曾我抄所

日書自注百我抄所鎌倉元年の事子書在抄
之也

大平流武勝部記

日書不大平流武勝部記と引書自注事抄元年
事抄下人大平流自注の事

雜要抄

日書年雜要抄と引書自注清用寺の事

年中諸大名の御成之記

日書不守り諸大名の御成之記と引書自注事抄
附介の書

秩桑見聞抄記

安達彦抄記盛長抄記

大追抄初記

訓因集

武門故実百箇条

取馬故実

室町殿見記

盛衰元正後子... 徳和為心
信深入乃... 書... 付印の
... 年... 書... 付印の
...

文原記
永正記

年而通年... 永正記... 書... 伊勢の
初及... 新... 人... 類...
... 法... 如... 海... 定... 人...
... 世... 人... 求... 得...
... 例... 人... 求... 得...
...

玉の心

本指並長湯

口書玉... 夢... 人... 求... 得...
通... 人... 求... 得...
...

枕草子

口書通... 雜... 書... 人... 求... 得...
... 又... 人... 求... 得...
... 長... 人... 求... 得...
... 長... 人... 求... 得...
... 長... 人... 求... 得...
...

可新美少... 塩尻

塩尻

天冲信景様

日書... 三百作... 塩尻... 下... 年... 一...

日書... 通... 塩尻

日書... 通... 塩尻

可

東海談

祥奇雅事抄

日書三平雅章一書之... 祥奇雅事抄... 東海談...

古言清濁考

石塚龍應抄

日書三平雅章一書之... 今清濁考... 石塚龍應抄... 古言清濁考...

又... 日書三平雅章一書之... 今清濁考... 石塚龍應抄... 古言清濁考...

古言記傳

本指並長抄

日書三平雅章一書之... 本指並長抄... 古言記傳...

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 15 vertical columns of characters.

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 15 vertical columns of characters.

世徳抄

口書是之... 世徳抄... 長元元年... 清書... 明寺の燈... 洞寛仁二年...

長元元年... 清書... 洞寛仁二年... 長元元年... 清書... 洞寛仁二年...

家刻の跋あり其本今稀なり

水鏡

曰書之御厨子所預の書所藏の水鏡活字本也其文
印板の水鏡と大畧同なり水鏡の字本あり印板
の水鏡は後人撰なり其記に撰り取捨し乃所至

水鏡

曰書之御厨子所預の書所藏の水鏡活字本也其文
印板の水鏡と大畧同なり水鏡の字本あり印板
の水鏡は後人撰なり其記に撰り取捨し乃所至
の書之御厨子所預の書所藏の水鏡活字本也其文
印板の水鏡と大畧同なり水鏡の字本あり印板
の水鏡は後人撰なり其記に撰り取捨し乃所至

休

好古小録卷之二 中行事 撰本
此書及春日 驗記 書卷中之
至宝也

唐書

曰書之跋刻飲及流教刻飲之類
皆也 唐書卷之二 至宝也

唐書

曰書之去備 入唐繪詞
記之入唐繪詞 二卷 今下卷 逸也
說來 征傳 繪詞

唐書

曰書之件大納言繪詞
首尾詞逸

休

四

相模大岡 一巻

曰書三相模大岡 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
皆徴 一巻書是元及公 其岡古首相模の事

質茂榮草子 一巻

曰書之跋云此陰龜山流御繪入定時經業仰祈調進也
畫為信仰詞定成朝臣書之元徳二年閏六月甲午
之頃今寫之畫繪所預隆軍朝臣朝入道内藏權
頭季邦朝后寫之幹者之展覧と前治六七次
對 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
兼模 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
用 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
也。新模本 一巻書是元及公 其岡古首相模の事

且主此模本 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
惜 一巻書是元及公 其岡古首相模の事

國中十岡 一巻

曰書五人余 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
撰本 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
先 一巻書是元及公 其岡古首相模の事

後三年事記 三巻

曰書三後三年事記 三巻書是元及公 其岡古首相模の事
行 一巻書是元及公 其岡古首相模の事
權大僧都 一巻書是元及公 其岡古首相模の事

十二類 三巻

曰書十二類 三巻書是元及公 其岡古首相模の事
後 一巻書是元及公 其岡古首相模の事

いゝ且長草の巻あり

非常草木不成傳 二卷

曰書之非常草木不成傳 二卷 畫信實付長津記不似畫

小部

福高草子 二卷

曰書之福高草子 二卷 畫五及書 若坦次不傳

時代不同歌合繪 二卷

曰書之時代不同歌合繪 畫本二卷 畫信實

三千二歌仙像

曰書之三千二歌仙像 畫信實於傳及後世の衣服と似て

時と馬と 出首の判とあり不益あり 六七百身

身の衣服評ふあり

奈子刺草子 二卷

曰書之奈子刺草子 二卷 畫若 坦次不傳 獲本異同あり

畫師草子 二卷

曰書之畫師草子 二卷 畫若 信實 信實公氣あり 眼と

新畫折臂之舞 一巻

曰書之新畫折臂之舞 一巻 畫若 長書 數通 古首畫五法と序と

此草子の巻と似たり

長長谷雄草子 一巻

曰書之長長谷雄草子 一巻 畫若 坦次不傳 獲本二種あり 破裂不全

若佳本也今若い俗子の補あり

長歌草子 一巻

四

日書長歌草子畫一為畫 草子の一種也

百鬼夜行圖 一巻

日書百鬼夜行圖 一巻

錄念職人歌合 一巻

日書云鎌倉職人歌合 一巻 鎌倉一社鎌倉職人歌合

云云若也 固 一巻 形判詞一列也

職人歌合 一巻

日書云職人歌合 一巻 畫先長 淡彩あり 一巻 圖

印行 一巻 依本之此歌合 作者鳥丸光廣 仲之説あり

一巻 和長 仲真 海 一巻 俗説あり 一巻

馬蹄繪 一巻

日書長歌草子 一巻 無月の長袖 一巻 古

者也 住吉 家 所 貞享五年八月の奉本後

附集草子 一巻 二巻 一巻

勝畫 二巻

日書云勝畫 二巻 畫 東寺金勝院の所蔵也 今

傳 一巻

傳 一巻

日書云禽獸草子 一巻 鳥獸畫 一巻 一巻 一巻 一巻

本也 貞享五年五月日行 九花押

傳 一巻

日書云右四巻畫力 一巻 鳥山寺所藏也 勝畫

一巻

三論 一巻

日書三論一卷詞後畫傳成見并版畫傳 今の畫二後母俗五詞子

疾筆字三卷

日書三疾筆字一卷畫

東大寺三倉室初圖一卷

日書三此圖余人所三種也一普通本一琴及
象牙等之圖也本一辨相那依想撰本

文中印位詞及圖三卷

日書三此卷圖之所為古判之者子 但圖。

細密也 意恨之

表日權現驗記

日書三表日權現驗記二十卷畫繪所禱高階隆兼詞子二三四五
九十七十一二十三二十二卷前圖白殿牙二七八

德政殿牙十七十八卷良信親玉方十四十九十九
權大御言久之在仰路三火慶二年三月 隆兼畫力精好

物 苟 今の繪詞傳教程也

之考考の益也此驗記不其若也 中

行事の畫一白付一唯識若の偏 觀覽

あつた 遠嶽







